

Ⅱ 子どもの健やかな成長を支える

(1) 安心な妊娠と出産

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2101	妊婦健康診査	保健予防課・碑文谷保健センター	妊娠の届出をした妊婦に対して、妊婦死亡率の低下や妊娠中の母体と胎児の健康を守るため、妊娠中に14回医療機関に委託して健康診査を実施する。妊娠超音波検査も1回公費負担する。	妊婦届出数 2942件 妊婦健診等実績（超音波検査含む）31786件	4（達成した）	妊婦と胎児の健康に資するものであると考える。
2102	ハローベビークラス・サロン	保健予防課・碑文谷保健センター	主に初妊婦を対象に、妊娠・出産・育児等について必要な知識を習得し、理解することや交流を目的として実施する。	72回 1434人	4（達成した）	参加者数は年々増加しており、知識の習得や妊婦同士の交流に役立っている。
2103	妊産婦・新生児・未熟児訪問指導	保健予防課・碑文谷保健センター	新生児・未熟児に対して、保健師あるいは委託による助産師が訪問し、指導を行う。	延べ2565人（内委託分 1495人）	3（ある程度達成した）	24年度より、新生児訪問と乳児全戸訪問を統合し、訪問の充実に取り組んでおり、訪問数が増大している。
2104	妊娠高血圧症候群助成	保健予防課・碑文谷保健センター	妊産婦死亡及び後遺症を防ぎ、併せて胎児を守るため、必要な医療給付を行い、早期に適切な療養が受けられるようにする。	2件	4（達成した）	対象者は少ないが妊婦の不安を和らげるとも妊婦と胎児の健康に資すると考える。
2105	保健指導（保健指導票の交付）	保健予防課・碑文谷保健センター	生活保護世帯や非課税世帯の妊産婦・乳児に対し、専門医の保健指導が無料で受けられる保健指導票を交付する。	3件	4（達成した）	対象者は少ないが妊婦の不安を和らげるとも妊婦と胎児の健康に資すると考える。
2106	養育医療（未熟児養育医療）費助成	保健予防課・碑文谷保健センター	未熟児であって入院養育が必要のため、指定医療機関に入院した者を対象に、社会保険等の自己負担分を公費で負担する。	51件	4（達成した）	乳児の健やかな成長に資するものと考ええる。
2107	小児慢性疾患の医療費助成	保健予防課・碑文谷保健センター	小児慢性疾患をもつ児童を対象に、社会保険等の自己負担分を助成する。	113件	4（達成した）	乳児の健やかな成長に資するものと考ええる。
2108	育成医療費助成	保健予防課・碑文谷保健センター	18歳未満の児童で身体上の障害をもった児童又は現存する疾患を放置すると将来障害を残すと認められる児童に対して早期に適切な治療を受けるため、医療費を助成する。	入院 11件 通院 11件 実人数 12人	4（達成した）	乳児の健やかな成長に資するものと考ええる。
2109	妊産婦歯科健診	保健予防課・碑文谷保健センター	妊産婦の歯科疾患の予防及び早期発見による口腔衛生向上を図るため、目黒区歯科医師会に委託して歯科健診を実施する。	申込み 妊婦575人 産婦294人 受診者 妊婦467人 産婦210人	3（ある程度達成した）	初めての受診経験であることが多いため、今後の健診の継続につながる重要な事業として取り組んでいる。
2110	入院助産費用の援助	子ども家庭課	経済的理由で病院に入院して出産することが困難な妊産婦に対して、指定の助産施設（病院、助産院）での出産費用を援助する。所得制限があり、また費用の一部本人負担がある。	入院助産費用援助 6件	3（ある程度達成した）	経済的理由で病院に入院して出産することが困難な妊産婦に対して、指定の助産施設（病院、助産院）での出産費用を援助した。
2111	産後支援ヘルパー派遣事業	子ども家庭課	新生児家庭に対し、産後一定期間産後支援ヘルパーを派遣し、育児・家事のサービスを提供する。多胎児については、利用時間・期間とも延長する。	産前・産後支援ヘルパー派遣 4,506時間 多胎児支援ヘルパー派遣 748時間	4（達成した）	新生児家庭に対し、産前・産後一定期間、産前・産後支援ヘルパーを派遣し、育児・家事のサービスを提供した。多胎児については、利用時間・期間とも延長した。

(2) 子どものこころとからだの健康づくり

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2201	休日テレホンセンター事業支援	健康福祉計画課	日祝日・土曜準夜・年末年始に診療機関を案内する目黒区医師会の休日テレホンセンター事業を支援する。	実施	4（達成した）	休日診療事業体制の安定・定着化につながっている。
2202	休日・休日準夜・土曜準夜診療事業	健康推進課	一般の診療所が休診している日曜・祝日・年末年始及び土曜日の急病者が受診できるよう、目黒区医師会に委託して実施する。	施設数：2、休日昼間：72日、準夜間：121日、 大人：3,304件、子供：3,042件	4（達成した）	救急患者の需要は多く、休日・休日土曜準夜間の小児科医療を担った。
2203	4か月児健康診査	保健予防課・碑文谷保健センター	発育状態や疾病の有無等について、健康診査を行い、またその保護者に適切な保健指導を行う。また、親の育児不安の軽減を図り、児童虐待の兆候を早期に発見し、防止するための個別相談指導等を実施する。	対象数 2456人 受診数 2242人 受診率 91.3%	4（達成した）	25年度より、健診に併設していたBCG接種が委託となったが、受診率は例年高く、乳児の健診や保護者支援に役立っている。
2204	乳児健康診査（6か月児）（9か月児）	保健予防課・碑文谷保健センター	乳児健康診査の一層の徹底を図るため、該当の乳児に対して受診票を発行して、委託医療機関で健康診査を実施する。	6か月児 発行数 2331人 受診者数 2120人 受診率 90.9% 9か月児 発行数 2331人 受診者数 1969人 受診率 84.4%	4（達成した）	健診の受診率は高く、委託医療機関での健診を実施している。
2205	お誕生健康診査	保健予防課・碑文谷保健センター	乳児健康診査以後の成長・発達の経過を把握するため、医療機関に委託し、1歳になった時に健康診査を実施する。	他の健診等も充実してきたため、平成23年度で事業を終了した。	4（達成した）	平成22年度と23年度に事業を実施した。お誕生日健診前後の9～10ヶ月健診及び1歳6ヶ月健診が充実してきたため、23年度で事業を終了した。
2206	1歳6か月児健康診査	保健予防課・碑文谷保健センター	発育状況の一般診査と精神発達面の診査を医療機関に委託して実施する。	発行数 2132人 受診者数 1827人 受診率 85.7%	4（達成した）	乳幼児の健やかな成長に資するものとする。
2207	3歳児健康診査	保健予防課・碑文谷保健センター	身体発育、運動、精神発達、生活習慣の観察及び歯科健診を行い、心身障害を早期に発見し、幼児の健康な発育を図る。また、虐待などの早期発見に努める。	対象数 2093人 受診数 1764人 受診率 84.3%	4（達成した）	23年度以降受診率が8割を超えており、25年度より未来所フォローの徹底に取り組んでいる。
2208	5歳児健康診査	保健予防課	乳児の健全な育成を図るため、健診の機会が少ないか又は健康に不安のある5歳児を対象に、身体面、精神発達面の健康診査及び保護者の育児に関する状況把握を医療機関に委託して実施する。	対象数 1849人 受診者数 689人 受診率 37.3%	3（ある程度達成した）	年々申請者数及び受診者数は増加しており、健診の機会が少ないなど健診を必要とする5歳児の健やかな成長に役立っている。
2209	1歳6か月児歯科健診	保健予防課・碑文谷保健センター	乳臼歯が萌出するこの時期の乳児をむし歯から守るため、適切な歯科保健指導を行い、心身の健全な育成を図る。	対象数 2119人 受診数 1539人 受診率 72.6% 有病者率 3.4%	3（ある程度達成した）	初めての受診経験であることが多いため、今後の健診の継続につながる重要な事業として取り組んでいる。
2210	2歳児歯科健診	保健予防課・碑文谷保健センター	乳歯のむし歯が発生しやすいこの時期の乳児をむし歯から守るため、適切な歯科保健指導を行い、心身の健全な育成を図る。	対象数 2065人 受診数 1277人 受診率 61.8% 有病者率 4.5%	3（ある程度達成した）	対象者数・受診者数が年々増加してきている中で、有病者率は年々減少している。
2211	2歳6か月児歯科健診	保健予防課・碑文谷保健センター	乳歯のむし歯が発生しやすいこの時期の乳児をむし歯から守るため、適切な歯科保健指導を行い、心身の健全な育成を図る。	他の健診等も充実してきたため、平成23年度で事業を終了した。	4（達成した）	平成22年度と23年度に事業を実施した。2歳児歯科健診及び歯科相談が充実してきたため、23年度で事業を終了した。

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2212	3歳児歯科健診	保健予防課・碑文谷保健センター	乳歯列の完成時期であるこの時期の乳児をむし歯から守るため、適切な歯科保健指導を行い、心身の健全な育成を図る。	対象数 2073人 受診数 1748人 受診率 84.3% 有病者率 11.7%	4（達成した）	受診率が年々増加してきている中で、有病者率は年々低下してきている。
2213	5歳児フッ素塗布	保健予防課	歯質の強化を図り、むし歯予防の一助として5歳児に対し、萌出期に効果的であるフッ素塗布を目黒区歯科医師会に委託し実施する。	発行数 1884人 受診者数 528人 受診率 28.0%	4（達成した）	乳歯から永久歯に萌え変わる重要な時期に歯科医師会に委託して実施しているが、受診率が低下しているため勧奨につとめた。
2214	予防接種の勧奨	保健予防課・碑文谷保健センター	BCG、ポリオ、DPT、DT、MR（麻しん・風しん）、日本脳炎については、標準の接種年齢にあわせて接種票を個別送付する。	随時実施	3（ある程度達成した）	25年度はヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんが新たに定期接種となったが、夫々適切に勧奨を行った。
2215	予防接種に関する正しい知識の普及啓発	保健予防課・碑文谷保健センター	予防接種に関する情報を適時に提供するため、保健センター等の各種健診時や予防接種の個別通知時に案内するほか、電話相談、ホームページ掲載などを行う。	随時実施	4（達成した）	25年度はヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんが新たに定期接種となったが、区報、HP、電話での相談など夫々適切に普及啓発に努めた。
2216	子どもの健康教室	保健予防課・碑文谷保健センター	1歳6か月児健診や2歳児歯科健診、3歳児健診を始めとする乳児の各種事業の結果、軽度のことばの遅れのある子ども、母子分離できない子ども、友だちと遊べない子ども等を対象に集団遊びを通じて、親と子どものかかわり方を理解することを目的として実施する。	95回 834人	3（ある程度達成した）	ことばの遅れ、発達障害の疑い等の幼児を療育へつなぐまでの期間を受け入れることで、母子の心身の安定に効果がある。また、幼児との関わり方を母が学び親子関係が改善されている。
2217	個別相談	保健予防課・碑文谷保健センター	保健指導の必要があると思われる家庭や電話・文書・来所により相談のあった区民に対して、個別訪問や個別相談により対応する。	延べ2285人	3（ある程度達成した）	母のメンタル、幼児の発達障害及び虐待の疑い等で、相談内容がより重症化・複雑化している。そのため、個々の対応が長期化し対応がより困難になっている。
2218	所外健康学習	保健予防課・碑文谷保健センター	依頼に応じて、幼稚園、児童館、社会教育館等で、保護者、親子対象に食と健康について実施する。	1回 15人	2（あまり達成できていない）	幼稚園、児童館、社会教育館等からの依頼を積極的に受け入れることは現体制では困難であるため、ほとんど実施できなかった。
2219	歯科健康学習（所内健康教育）	保健予防課・碑文谷保健センター	ハローベビークラス・乳児健診・育児学級等で、その時々の親のニーズに沿った内容を取り入れ、歯科健康づくりに役立てる。	78回 延べ1697人	4（達成した）	参加者同士、コミュニケーションを図る場として役立っている。妊産婦歯科健診の受診勧奨をしている。
2220	歯科健康学習（所外健康教育）	保健予防課・碑文谷保健センター	依頼に応じて、保育園、児童館等で歯科健康学習を実施する。	37ヶ所 1908人	4（達成した）	保育園・児童館からの要望が多くなってきている。
2221	私立幼稚園児の歯科検診委託	子育て支援課	区内の私立幼稚園に通う全園児を対象に、園児の健康の維持を目的として目黒区歯科医師会に委託して歯科検診を実施する。	歯科検診実施 19園	4（達成した）	継続した歯科検診の実施により、園児の虫歯の早期発見等口腔衛生の充実に寄与することができた。
2222	区内認可保育所の歯科検診委託	保育課	区内の認可保育所（私立を含む）に通う全園児を対象に、むし歯を防ぐため目黒区歯科医師会に委託して歯科検診を実施する。	認可保育園で年2回実施	4（達成した）	年2回実施することでむし歯予防の啓発になると共に、むし歯の早期発見になった。

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2223	ひきこもり・不登校等の相談	保健予防課	ひきこもり・不登校・摂食障害など、思春期青年期の子どもの問題に悩む親を対象として、ワークショップ等を実施する。	12回 延べ28人	3（ある程度達成した）	実施回数を徐々に増やし、ワークショップとサロンを6回ずつ実施した。参加人数の減少もあり検討が必要。
2224	子どもの成長に合わせたサポート体制の整備	障害福祉課	障害をもつ子どもの成長に合わせたスムーズなサポート体制ができるように、関係機関のネットワークを図り、より円滑な相談ができるように体制を整備する。	・児童発達支援事業所（区立1ヶ所、民間2ヶ所）指定障害児相談支援事業所（民間2ヶ所） ・従来の各機関との連携に加え、すすすくのびのび園は児童相談支援事業所と連携を深め、基本的に新規児は計画相談を経て利用開始することとした。	3（ある程度達成した）	・23年度までは区立幼児療育通園施設1ヶ所民間事業所1ヶ所だけだったが、25年度にさらに民間事業所が1ヶ所開設された。 ・すすすくのびのび園では、関連機関と協力し課題解決に取り組めた。計画相談利用者は、相談支援事業所の協力を得て順次増加中であり、ネットワークの拡大が図られた。
2224	子どもの成長に合わせたサポート体制の整備	子育て支援課	障害をもつ子どもの成長に合わせたスムーズなサポート体制ができるように、関係機関のネットワークを図り、より円滑な相談ができるように体制を整備する。	障害等のある児童への理解を深め、児童館や学童保育クラブにおける保育の向上と、児童及び保護者への支援を図るため、特別支援教育コーディネーターによる保育相談を行った。	4（達成した）	職員の障害児理解を図るため小学校の支援学級の教師と定期的に懇談を行ってきたが、中高生の利用が増えてきたため、平成23年度からは中学校支援教諭との懇談も懇談を始めた。保護者からの要望を踏まえ関係機関とのネットワークを分かりやすく視覚化させるため、「困ったときの相談窓口（相談機関一覧とフローチャート図）」を平成24年3月に作成し、現在も随時改正発行している。さらに区内の関係機関と円滑な情報交換ができるよう、平成26年3月に目黒区障害者自立支援協議会専門部会として正式に「児童部会」が発足し、児童館長・職員が毎月1回参加し意見交換・情報共有を図っている。
2224	子どもの成長に合わせたサポート体制の整備	保育課	障害をもつ子どもの成長に合わせたスムーズなサポート体制ができるように、関係機関のネットワークを図り、より円滑な相談ができるように体制を整備する。	すすすくのびのび園に通所している園児がいる保育園とすすすくのびのび園とで情報を共有し、必要な園は、定期協議を行った。	4（達成した）	障害をもつ子どもの成長に合わせたサポート体制ができるように、すすすくのびのび園の見学、定期協議、情報の共有等をして進めてきた。
2225	健康教育の推進	学校運営課	児童・生徒等の一人ひとりの健康の維持向上と健康課題の改善に向け、生活習慣改善プログラムの実施、健康づくりハンドブックの活用、健康教育推進校の実践の周知、給食後の歯磨き運動の推進などの取組を進める。	・生活習慣改善プログラムを区立小学校4年生及び区立中学校1年生を対象に実施した。小学校から17人、中学校から1人の申込みがあり、小学校は10人、中学校は1人に面談を実施した。 ・給食後の歯磨き取組み状況の調査を行い、取組みの充実に資するため、学校、学校歯科医会へ結果報告を行った。	3（ある程度達成した）	・生活習慣改善プログラムへの参加が必要な健康課題のある児童・生徒に対する参加促進を図る。 ・給食後の歯磨き運動の推進を継続し、実施状況を考慮して、小・中学校における同運動の充実を図っていく。
2226	健康診断	学校運営課	定期健康診断の実施により児童・生徒の健康状態を把握し、その結果に基づいて治療の勧奨や学校生活についての指導を行うとともに、保護者や地域との連携により自主的な健康管理・健康づくりを促す。	受診率 小学校99.5% 中学校96.9% 有症率10%以上の項目 〔耳鼻咽喉科疾患〕 アレルギー性鼻疾患 小学校20.6% 中学校13.0% 〔歯科〕 小学校未処置歯18.7% 中学校未処置歯13.8%	3（ある程度達成した）	学校における児童生徒の健康の保持増進を図った。 学校保健安全法に基づき、今後も実施する。
2227	体力づくりの充実	教育指導課	体育の時間や体育的行事を通じ生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるとともに、体力テストにより子どもたちの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努める。	小・中学校において、4月から6月の期間に都の体力テストを実施し、子供たちの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努めた。「一校一取組」運動は、すべての幼稚園・こども園、小・中学校、学級において実施した。スポーツ教育推進学校の指定等（東京都）が、3校から5校に増加した。	3（ある程度達成した）	平成20年度から全小学生に「めぐろ子どもスポーツ健康手帳」を配布し、活用した。また、本手帳の活用を図るための指導資料を作成し、活用した。平成22年度より全中学校生徒にも配布している。平成22年度より「一校一取組」運動を実施している。

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2228	健康教育の推進	めぐろ学校サポートセンター	健康づくりに関する専門の職員（学校健康トレーナー）が区立小学校を訪問し、肥満やぜん息などの健康課題の改善に向けて個に応じたプログラムを作成したり、助言したりする。また、サポートセンターにおいて、健康課題に関する相談に応じたり、健康教室を開催する。	学校健康トレーナーを、全小学校へ各18回派遣した。 ・また、主に健康に課題のある児童（189人）に対し、教職員と連携して相談・指導（運動プログラムや生活改善プログラムの提供等を行うとともに、「元気あっぴ」教室（Ⅲ期延べ15コース）及び夏季水中運動教室を実施した。 元気あっぴ教室等参加状況 ・年3期各5コース実施 延べ参加者1,583人 ・夏季水中運動教室3日実施 延べ参加者93人	3（ある程度達成した）	学校健康トレーナーが平成24年度6人から4人に減ったが、引き続き全小学校へ派遣するとともに、健康教室を見直し健康課題のある児童を対象とした「元気あっぴ教室」として実施したことで参加者が大幅に増えているが、教育指導課や学校運営課との情報共有や連携が課題である。
2229	大気汚染健康被害者の医療費助成	健康推進課	気管支ぜん息（18歳未満は慢性気管支炎、ぜん息性気管支炎、肺炎腫も対象）を患っている者に対して、医療費の保険診療の自己負担分を助成する。	都医療費助成制度の認定事務を行った。18歳未満認定患者163人（26年3月末現在。東京都保健衛生課「大気汚染被害者医療費助成認定状況」より）	4（達成した）	東京都から事務処理権限の委譲を受けて東京都大気汚染被害者認定事務を行った。
2230	公害保健予防事業	健康推進課	気管支ぜん息を患っている小学生を対象に水泳教室、小学校3年生から中学3年生を対象に転地療養事業を実施し、健康の回復や保持増進、発症の予防を図る。また、15歳未満の児童及び保護者を対象に医師等による健康教室を実施し、知識普及を図る。	大気汚染の影響による健康被害の予防のため、保護者を対象にした健康教室、めぐろ子育て交流広場0123への出展、0歳児保護者を対象にした児童館出張講座を実施した。	3（ある程度達成した）	水泳教室・転地療養事業については事業見直しにより23年度で終了し、24年度から新たに子育て交流ひろばへのブース開設などにより知識普及を図った。

(3) 思春期の保健対策の強化

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2301	薬物乱用防止活動	健康福祉計画課	薬物乱用防止推進目黒地区協議会等と連携協力して、「脱法ドラッグ」等の有害性についての情報提供を始めとする薬物乱用防止のための啓発活動を進める。	区及び地域の催し会場等でチラシを配布して啓発活動を実施した。また、中学生を対象としてポスター・標語コンクールを行い多数の応募を得たほか、区立小学校1校、区立中学校2校で「薬物乱用防止教室」を開催した。	4（達成した）	継続的な啓発活動を行っており、事業目標は達成している。今後も、区の催しや地域の催し等を通じて啓発活動を行っていく。小中学校における「薬物乱用防止教室」を充実させていくことが今後の課題である。
2302	健康教育	教育指導課	食習慣をはじめとした生活習慣の乱れや、薬物乱用等新たな課題を踏まえながら、自ら健康を保持、増進できる実践力をはぐくむため、「食に関する指導」、「薬物乱用防止教室」、「喫煙・飲酒防止指導」、「心の健康問題への対応」、「性教育」等、学校での健康教育を推進する。	全小・中学校の体育科・保健体育科で、保健体育科の教科指導、食に関する指導、保健指導を実施した。また、健康教育の一環として薬物乱用防止教室を全校で実施した。	3（ある程度達成した）	全小・中学校の体育科・保健体育科で、保健体育科の教科指導、食に関する指導、保健指導を実施している。また、心の健康問題の対応に活用するため、平成20年度から全小・中学校にスクールカウンセラーを週1度派遣し、助言している。

(4) 食育の推進

事業番号	事業名	担当課	事業概要	25年度実績	22年度から25年度までの実績への評価	4年間（22年度から25年度）の事業総括
2401	食育推進のための普及啓発	保健予防課・碑文谷保健センター	食育関係者及び食育に関わる民間団体等とも連携協力して、食育の推進に関する普及啓発を図るための活動や行事を実施する。	実績なし	2（あまり達成できていない）	食育関係者及び民間団体との連携協力は、実現できなかったが、今後も食育の普及啓発事業は実施していく。
2402	食育推進に関する人材の確保	保健予防課・碑文谷保健センター	地域の食育関連事業に関わる各分野の専門家を把握し、食育推進活動の協力者として確保・登録のうえ、各種事業への協力活動を推進する。	実績なし	1（達成していない）	人材の確保と育成は難しく、実績はない
2403	栄養相談	健康推進課	育児学級や乳児健診等の実施時に集団、個別の栄養相談を実施する。	イベント等で栄養相談を実施	3（ある程度達成した）	イベント等を活用して栄養相談の機会を増やすと同時に、相談ができる身近な場所として保健所があることの周知に努めた。今後も継続して実施していく。
2403	栄養相談	保健予防課・碑文谷保健センター	育児学級や乳児健診等の実施時に集団、個別の栄養相談を実施する。	随時実施	4（達成した）	食と栄養全般に関する育児不安等の解消等、健やかなる親子の育みに支援してきた。
2404	子ども料理教室、夏休み・春休み親子料理教室	保健予防課・碑文谷保健センター	主に小学生を対象として「健康な自分の体」、「栄養知識と調理」、「食品衛生」等について実施する。	2回 26人	3（ある程度達成した）	参加者は学童期の栄養について、調理実習の体験を通じて、興味深く技術の習得に努めていた。
2405	プレママクッキング	保健予防課・碑文谷保健センター	ハローベビークラスにおける講義の内容を基に日常生活において実践できることを取り上げ、調理実習を通じて学ぶ。	6回 95人 33%	4（達成した）	低体重時の予防や、妊産婦のための栄養改善のための一助となっている。
2406	夏休み子ども食品衛生教室	生活衛生課	子どもが安全に食事をする事ができるよう、子どもに対して、食品衛生に関する学習機会を提供し、食の安全に対する関心を高める。小学生を対象として実験等とおして食品衛生についての普及啓発を行う。	23年度で事業終了	3（ある程度達成した）	検査施設の受入体制及び緊急財政対策による普及啓発事業の見直しのため、23年度で事業終了とした。22年度は小学生6名、保護者2名が参加した。
2407	「学校における食育指針」に定める行動計画の実施	学校運営課	学校が保護者や地域と連携しながら、児童・生徒が食事の重要性や楽しさを理解し、心身の健康増進のうえで望ましい食習慣を身に付けられるよう、策定した指針に定める行動計画を実施する。	学校栄養職員による給食時間の指導の実施。 家庭や地域との連携の取組みとして、保護者との試食会、地域の方を招いての招待給食の実施。	3（ある程度達成した）	各学校で指針に基づき、継続して食育に取り組んでいく。
2408	特別給食の実施	学校運営課	日本の伝統的な行事食や、地域の郷土料理、海外の料理などを給食の献立に取り入れ、食文化の継承を行う。	学校給食を活用した食育を推進するため、特別給食を実施した。	3（ある程度達成した）	引き続き特別給食を実施するとともに、各学校において、通常給食の中で工夫しながら食育の推進を図っていく。